

令和2年度

宮若市立小中一貫教育校 宮若西中学校

学校の教育目標		豊かな心と広い視野を持ち、未来にチャレンジする子どもの育成				総合評価
本年度の重点課題		組織：小中一貫した学校運営組織の協働体制の確立 教科指導：「資質・能力」を育む授業づくりを促進し学力の向上を図る 生徒指導：「挨拶」を中心とした礼節を意識させるとともに、規範意識の醸成を図る 進路指導：学校行事を充実させ、自主性や主体性を伸張させる				2.9
県	重点項目 本年度の重点項目に○をつける。 (3～5つ程度)	学校の「取組指標」と「成果指標」		評価1	評価2	改善点
確かな学力の育成	授業改善	○	取組指標 「みやわかスタンダード」のに基づき、思考力・判断力・表現力を向上させる。	2.9	2.8	○振り返りに重点を置いた授業改善に共通認識を持って取り組めた。 ○学び合いの時間を増やし、生徒同士で学習に向向きに取り組む姿が見られた。 ○ステップアップノートの提出率が大幅に向上した。 ○振り返りシートを活用し、次の時間に前時の内容の確認などに活かせた。 ●県平均を超えることができず、学力の定着に課題が残る。 ●家庭学習の定着を図るためステップアップノートの活用に取り組んでいるが、今後は内容を検討していきたい。 ●県平均を超えることができず、学習のしたことの定着に課題が残る。 ●家庭との連携が必要である。
	福岡県学力実態調査各教科で県平均達成		成果指標 昨年度、は県平均を下回っており、本年度は、国語・数学で県平均を目指す	2.7		
	学力向上	取組指標 各教科において資質・能力を育む授業づくりを促進し学力の向上を図る。学び合いや学習過程の振り返りを大切にする。	3.0			
	★宮若市内各学年で、全国標準達成	成果指標 学力診断テストにおいて全ての学年において県平均を目指す。	2.5			
	自主学習の奨励	取組指標 自学ノート「ステップノート」の指導と「家庭学習のすすめ」のプリントを配布し、家庭学習の充実を図る。	3.1			
	★市の数値目標 (家庭学習時間達成率80%以上)	成果指標 家庭学習時間を学年×10分+10分行う生徒の割合80%以上を目指す。	2.6			
豊かな心の育成	生徒指導の充実(不登校児童の減少)	○	取組指標 生徒指導委員会において不登校生との状況を把握し、情報の共有化を図る。	3.5	3.0	○落ち着いた学校生活が送れている。 ○定期的に生徒指導委員会が行われ情報の共有ができた。また、SC.SSWとの連携もできてきた。 ○不登校や教室に入れない生徒等、特性に応じた細やかな指導ができた。 ○家庭訪問や三者面談を利用して、不登校生徒が登校できる環境づくりを行った。 ●コロナの影響で掃除が一斉にできないため清掃が行き届かなかった。 ●別室登校の生徒の対応を検討しなければならぬ。 ●不登校生徒および兆候の生徒に対して保護者と協力して取り組んでいるがなかなか改善できない。 ●語先後礼や黙動掃除は生徒会活動として取組を進める。
	昨年度比-〇〇ポイント。		成果指標 不登校生徒を昨年度比-2%を目標とし、発生率5%以下を目指す。	2.7		
	落ち着いた生活環境づくり 整理整頓された学校環境づくり	取組指標 生徒会活動を活用し、委員会活動の充実を図る。	3.1			
	生活規律を遵守する指導	取組指標 小中学校の教職員の共通理解のもと、「挨拶」「掃除」の徹底を図る。	2.6			
		成果指標 「語先後礼」「黙動清掃」ができているか。(達成度は、学級の生徒の80%以上を目標とする)	2.8			
健やかな体の育成	体力・運動能力の向上		取組指標 新体力テストの結果を分析し、日々の教育活動の中に体力を向上させる取組を組み入れる。	3.0	2.9	○部活動の中でも体力向上に取り組んでおり効果が出てきている。 ○毎月の安全点検や毎日の健康観察など徹底して行った。 ○全ての面においてコロナ感染予防の視点を念頭に置いて指導を行った。 ●部活動加入率が低くなっている。 ●新体力テストの結果や分析に関して、職員の間で共通理解、共通実践が必要である。 ●アレルギーに対する共通理解。
	★各学校で、数値の低い種目を選定し、重点的に取り組む。		成果指標 数値の低い種目に対して、向上を図る補強運動を保健体育科の授業及び部活動導入率100%を目標とする。	2.6		
	健康教育の充実	取組指標 保健指導、安全指導、給食指導を計画的に進める。	3.1			
		成果指標 小中一貫した通学路の安全点検、地域の危険箇所の把握を行い、安全マップの作成及び、修正を行う。	3.0			
特別支援教育の推進	通常学級および、特別支援学級における指導		取組指標 個別の指導計画、個別の教育支援計画の見直しを行い、指導の充実を図る。	3.1	3.1	○別室および特別な支援が必要な生徒への評価について共通認識をもって取り組むことができた。 ○巡回相談を利用し、助言をうけることができた。 ●特別な支援を必要としている生徒が増えてきており全員に十分な支援ができていない。 ●ユニバーサルデザインを取り入れた実践が必要である。
			成果指標 巡回相談を利用して専門家の指導・助言を受ける。	3.0		
	特別支援教育の指導体制の確立	取組指標 特別な支援を要する生徒の「教育支援計画」「個別の指導計画」を作成する。	3.1			
		成果指標 本年度の「教育支援計画」「個別の指導計画」作成率100%とする。	3.2			
信頼される学校づくり	キャリア教育の推進	○	取組指標 小中一貫したキャリア教育の指導計画に基づいた指導の充実を図る。	3.0	2.9	○重点課題の報告会に向けて小中連携して取り組むことができた。 ○県重点課題の最終報告会に向けて授業の計画を立て、修正等を部会で相談しながらおこなうことができた。これからも、研究の視点を取り入れた授業を行っていききたい。 ○毎月、安全点検が実施できた。 ○進路説明会を3回行うことで、生徒も保護者も意識を高めることができた。 ●重点課題研究で研究したものを英語科だけにとどまらず、他の教科にも広めていく。 ●コミュニティスクールについて、職員の認識を深める必要がある。 ●学校のホームページの更新を定期的に行っていく。 ●キャリア教育を充実させていく。
			成果指標 進路説明会を1学期に実施し、進路についての意識を高めさせる。	3.1		
	学校管理	取組指標 毎月の安全点検に対する修理・修繕の状況を把握し、施設設備面の改善に努める。	3.0			
		成果指標 特別教室、準備室等の整理整頓、教材教具の整理を夏季休業中を主として計画的に行う。	3.1			
	家庭・地域との連携	取組指標 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能化を図り、年間計画に沿った活動を推進する。	2.7			
		成果指標 学校運営協議会の委員に情報を提供するために、コミュニティ・スクール通信や学校ホームページ等で発信する。	2.4			
	特色ある学校づくり	取組指標 福岡県重点課題研究「グローバル化に対応した外国語教育」の推進を図る。	3.0			
		成果指標 重点課題研究の授業公開、連絡協議会に向け、計画的に準備を整え、全職員で内容の共有化を図る。	3.1			

\* 取組指標の欄に 4 達成できた 3 概ね達成できた 2 あまり達成できなかった 1 達成できなかったの番号を記入

評価の実施時期  
令和3年 1月13日実施

